もも		9℃以上	15℃以上	−15℃以上	1,000時間以上	1,300㎜以下	枝折れや樹の倒壊を防ぐため、最大積雪深が概ね２m以下であること。 花器・幼果の障害を防ぐため、蕾から幼果発芽期において降霜が少ないこと。
おうとう		7℃以上 15℃以下	14℃以上 21℃以下	−15℃以上	1,400時間以上	1,300㎜以下	枝折れや樹の倒壊を防ぐため、最大積雪深が概ね２m以下であること。 花器・幼果の障害を防ぐため、蕾から幼果発芽期において降霜が少ないこと。
びわ		15℃以上		−３℃以上			傷害果や病害果の発生を防ぐため、強風の発生が少ないこと。
かき	甘がき	13℃以上	19℃以上	−13℃以上	800時間以上		枝折れを防ぐため、新梢伸長期において強風の発生が少ないこと。 新梢の枯死を防ぐため、発芽・展葉期において降霜が少ないこと。
	渋がき	10℃以上	16℃以上	−15℃以上			枝折れや樹の倒壊を防ぐため、最大積雪深が概ね２m以下であること。 枝折れを防ぐため、新梢伸長期において強風の発生が少ないこと。 新梢の枯死を防ぐため、発芽・展葉期において降霜が少ないこと。
くり		7℃以上	15℃以上	−15℃以上			新梢の枯死を防ぐため、展葉期において降霜が少ないこと。
うめ		7℃以上	15℃以上	−15℃以上			枝折れや樹の倒壊を防ぐため、最大積雪深が概ね２m以下であること。 幼果は凍害を受けやすいので、幼果期に降霜が少ないこと。
すもも		7℃以上	15℃以上	−18℃以上	1,000時間以上（台湾系品種は除く）		枝折れや樹の倒壊を防ぐため、最大積雪深が概ね２m以下であること。 花器・幼果の障害を防ぐため、蕾から幼果期において降霜が少ないこと。
キウイフルーツ		12℃以上	19℃以上	−７℃以上			新梢の枯死を防ぐため、発芽・展葉期において降霜が少ないこと。 枝折れを防ぐため、新梢伸長期において強風の発生が少ないこと。
パインアップル		20℃以上		７℃以上			

㈱　１．表中に品種の記載がある場合にあっては当該品種、それ以外にあっては一般に普及している品種及び栽培方法によるものとする。

２．かんきつ類の果樹については、冬期の最低極温を下回る日が10年に１回又は２回程度発生してもさしつかえないものとする。

３．低温要求時間とは、当該地域の気温が7.2℃以下になる期間の延べ時間である。

４．上記の基準については、最近20年間の気象観測記録により評価する。